

# 重要性高まる 心の労務管理



職場環境の改善策について意見交換するファシリテーターの会議一帯人提供

## 一般社員が検証 帝人

多くの企業や役所などで開催される研修のうち、重要性の高まっているテーマが、働き方改革にも関連する「健康経営」だ。2015年12月、一定規模以上の事業所は、業務が従業員に与える心理的負担を調べ、職場環境の改善に反映する「ストレスチェック制度」の実施が義務づけられた。しかし、普通事件が象徴するように、過労やうつなどの心の病、自殺は後を絶たない。専門家は制度を正しく運用し、悲劇を減らすよう呼びかけている。

【田中泰義】

工場内の動線が悪くストレスがたまる。機器の場所を変えよう。職場の一体感が乏しい。作業着の下にその日のTシャツを着よう。合成繊維メーカー「帝人」で開催された職場環境改善会議の一幕だ。同社は03年、独自の「ストレス診断」を開始した。バブル経済崩壊後、多くの企業の働き盛りの世代が心身の不調を訴え始め、厚生

労働省も対策に乗り出したことを踏まえた。当初の質問は「非常にたくさんの仕事をしなければならぬ」「上司や同僚は、困ったときのくらい頼りになりますか」など12項目だった。現在は、15年のストレスチェック制度の義務化や厚労省のマニュアルを踏まえ「職場の仕事方針」に自分の意見を反映できるように「なすと計67項目」の約1万人を対象に実施された。

## 「チェック」9割実施 環境改善6%どまり

16年度に過労などが原因で「心の病」を患い、労災認定された人は498人、申請が1586人といずれも過去最多を記録した。

職場環境の改善に苦しいのは人事労務担当者ら約70人が参加。とも月11日、東京都内で開かれた厚労省検討委員会として同制度の策定に携わり、同協会共同代表の黒木直夫・東邦

業医協会主催の「ストレスチェック制度セミナー」

## ストレス調査 年1回義務

ストレスチェックの実施は、労働安全衛生法の改正に伴い15年12月から義務化された。対象は50人以上の従業員を抱える役所、工場や店舗、オフィスなど。50人未満は努力義務。実施は年1回で、対象は原則すべての従業員となっている。

各事業所で主に使われているのは、厚労省編「職業性ストレス簡易調査票」。この調査票は①「非常にたくさんの仕事をしなければならない」といった仕事の状況②「へとへとだ」といった心身の反応③上司や同僚ら周囲の支援体制——の3分野で大別された57項目の質問で構成されている。回答者は、4段階に点数化されたそれぞれの質問項目を自己評価する。仕事量が多い上に周囲の支援が得られず疲労感が強い人が「高ストレス者」となるが、何点を高ストレス者とするかは、見逃しがたいよう各事業所の担当責任者、産業医や従業員などで構成する委員会で決定する。

各事業所の産業医らは個人結果を集計した集団分析結果を事業者に提供し、事業者は職場環境の改善に役立てることが求められている。個人の結果については人事上の不利益を被らないよう、本人にのみ通知される。面接指導が必要と判断された場合、本人が希望すれば受けられる。厚労省は簡易調査票に準じた自己チェック用サイト (<https://kokoro.mhlw.go.jp/check/index.html>) を開設している。

る高リスク職場のうち約70%が「高リスク職場」になった。メンタルヘルスを担当する健康経営推進室の室長、道村康さん(60)は「作業動線の見直しなど具体的な対応に加え、職場全員の話しあえる雰囲気づくりこそ大切だ」と力説する。

とはいえ、毎年のように新たな「高リスク職場」が発生している。田中宏明・総務部長(57)は「取り組みは緒に就いたばかり。一つずつ問題を解決し、より良い社員の健康管理を実現したい」と話す。

原因を探るのが目的の解決にあたっては、特に人間関係が鍵になると「問題提起し、黒木さんは「職場ごとに事情は異なる。個々の結果を集団分析し、職場ごとに改善を図ることが最も重要だ」と助言した。会場から「高ストレス者であっても、申し出がなければ気づきにくい」「心のケアは、人事労務担当者ではなく、産業医の役割ではないか」との質問が相次いだ。黒木さんは「産業医には相当な対応が必要だと認識した。早急に検討したい」と話していった。

## Q がん転移後、顎骨壊死に

20年前、乳がんを左胸を全摘しました。10年前に脊椎転移があり、薬を服用していましたが、顎骨壊死が起きました。薬をやめた後、骨折が心配です。(千葉県、女性、51歳)

きょうの

## セカンド オピニオン

がんが成長すると、血流で移動し、他の臓器に増殖する転移が起きます。乳がんではリンパ節や骨、肺などが多く、再発の半数以上は転移が見られます。乳房に近い脊椎(背骨)は転移しやすい場所です。骨転移により、痛みや骨折、脊髄圧迫によるまひが起きます。これらに対して、痛みを和らげる放射線

## 射線で治療可

薬の副作用でまれに起こる骨が炎症を起こし、壊れてしまつて顎骨壊死が起きます。薬による治療は続けられなくなりますが、骨転移の状況を定期的にチェックし、適宜、放射線治療などで対応できます。また口腔内を清潔に保つようにつくってください。歯科医による定期的な口腔ケアを勧めます。ソメタは従来、4週ごとの投与が通例でしたが、最近、3カ月おきでも効果は低下しないという研究成果が発表されました。副作用のリスクを抑えるためにもより少ない投与を検討してみてください。顎骨壊死のリスク

entertainment 芸能

## Interview キツネ

芸歴50年、玉藻

充実の盛りである文い。吉田毅助への入門が今年7月。半世紀が過ぎた「今年中に師匠と同等の手交をするのが夢でした。1月の大阪・国立文芸本朝廿四季」の十種が八重垣姫義助が帯衣

「うれしい反面、緊張た。つい、師匠に目が眩がります。入りして50年と思われているように、ちょっとした見せ方にも見えて

眠り方ずる夏の明日

昔にもなれない人もいる。ただ、その中には、冬場に睡眠がうまくいって目覚め

がんが成長すると、血流で移動し、他の臓器に増殖する転移が起きます。乳がんではリンパ節や骨、肺などが多く、再発の半数以上は転移が見られます。乳房に近い脊椎(背骨)は転移しやすい場所です。骨転移により、痛みや骨折、脊髄圧迫によるまひが起きます。これらに対して、痛みを和らげる放射線



SCHWANN Jean-Philippe COLLARD